

---

## ボルグワーナー、オートテックベンチャーズへの投資を通じて グローバルなスタートアップ企業へのアクセスを獲得

---

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジェームズ・ベリアー/James Verrier)は、ベンチャーキャピタル投資会社の「オートテックベンチャーズ(Autotech Ventures)」(本社:アメリカ合衆国カリフォルニア州パロ・アルト)への1,000万ドルの投資を通じて、自社の発展に向けた新たな一歩を踏み出しました。

ボルグワーナーは、変化する業界の要望に対応しやすくするためにオートテックベンチャーズへの投資を決定しました。自動車業界のトレンドは電動化や自動運転へと進化を続けている中で、ボルグワーナーの最近の事業活動は、今後の自動車市場における同社の位置付けを明確にしつつあります。ボルグワーナーは、オートテックベンチャーズへの投資により、地上交通の未来を形づくる数百社のグローバルなスタートアップ企業を比較、検討できるようになりました。オートテックベンチャーズを通じて投資する予定の企業に加え、ボルグワーナーでは一部のスタートアップ企業を対象に直接独自の投資、連携、支援を計画しています。

ボルグワーナーの社長兼最高経営責任者ジェームズ・ベリアー(James Verrier)は、「この1年半の間、当社は大きな進化を遂げてきました。2015年には大手電機部品メーカーのレミー社を買収し、電気テクノロジー分野における地位を強化しました。2016年にはハイブリッドと電気自動車の分野で多くの顧客契約を獲得し、2017年も同様の取り組みを続けています。また、2017年には電動コンプレッサーのeBooster<sup>®</sup>や、eGearDrive<sup>®</sup>トランスミッションなどの新しいテクノロジーを実用化しました。このような進歩を通じて、当社はクリーンで効率に優れた駆動技術の未来を切り開いています。」と述べています。テクノロジーポートフォリオの充実化に伴い、人材へのニーズも変わりつつあります。パワーエレクトロニクス関連のボルグワーナー社内エンジニアリングチームは2013年から3倍に拡大しており、2021年までに人員を倍増させる予定です。

ボルグワーナーの最高戦略責任者ブレイディ・エリクソン(Brady Ericson)は、この新規投資により、サプライヤー、パートナー、バイヤー、投資家などの立場でこれらのスタートアップ企業と連携することで同社の既存製品のポートフォリオ以外で駆動技術およびモビリティの分野における投資機会が得られると考えています。「当社は今後も業界をリードする駆動技術の提供に重点を置いてまいります。このパートナーシップを通じて、コア製品の強みに限らず、新たなテクノロジーとサービスへのグローバルなアクセスができることを期待しています。近年の一連の投資と同様、今回の投資も、よりクリーンでエネルギー効率に優れた自動車技術を支える製品ポートフォリオを維持するという当社の全体的な戦略に大いに寄与するものです。業界の優先課題は変化し続けています。成功を収めるためには、製品のトレンドを常に把握し、世界中の革新的な企業と連携していく必要があります。」とエリクソンは述べています。



ボルグワーナーの社長兼最高経営責任者: ジェームズ・ベリアー

### ボルグワーナーについて

ボルグワーナー (NYSE: BWA) は、自動車の内燃機関、ハイブリッド車、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 17 カ国 62 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 27,000 人の従業員を擁しています。詳細については、[borgwarner.com](http://borgwarner.com) をご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国私的有価証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「計画」、「追求する」、「目指す」、「すべき」、「目標とする」、「の場合」、「と見込まれる」といった文言、その変化形、同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを明示することを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクと不確実性が付随しますが、そうしたリスクや不確実性の多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、予測、示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性には、国内外の車両生産の変動、OEM 企業による外部サプライヤーの継続的な利用、当社製品が使用された車両の需要の変動、一般的な経済情勢の変化、直近の Form 10-K 年次報告書で挙げたリスク要因をはじめとして当社が証券取引委員会に提出した報告書で述べたリスクが含まれます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

### <報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 後藤、副島、山本

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316 E-mail : [borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp)